

金沢能楽会

慈 童 能

Kanazawa Noh Association

JIZENNOH

狂言

仁王

能

枕慈童

令和4年

12月18日(日) 午後1時開演(正午開場)

石川県立能楽堂 金沢市石引4丁目18-3
TEL.076-264-2598

〈前売〉3,300円税 〈当日〉3,800円税 〈若者割〉当日のみ、30歳未満1,500円税
※受付にて年齢を確認できるものをご提示ください。

チケット取扱

金沢能楽会事務所(076-255-0075)
石川県立音楽堂チケットボックス(TEL.076-232-8632)
※前売予約をすることが出来ます。詳しくはホームページまたは能楽会事務所にお問合せください。
※前売、当日売切の場合があります。

主催：公益社団法人 金沢能楽会 *この事業の収益は下記へ寄付されます。
公益財団法人 北國がん基金、北陸交通災害等遺児をばげます会、金沢市、石川県

お問い合わせ | 金沢能楽会事務所 tel.076-255-0075 fax.076-255-1415

<http://www.kanazawanohgakukai.jp>

〔舞囃子〕

加茂 高橋憲正

大鼓 五十嵐浩之
小鼓 多田順子
大鼓 麦谷暁夫
笛 矢野由香子

地謡

佐野弘宣
島村明宏
渡邊茂人
田屋邦夫

〔舞囃子〕

船弁慶 佐野玄宜

大鼓 五十嵐浩之
小鼓 河原 清
大鼓 江野 泉
笛 木谷哲也
高橋右任
高橋 克徳
山崎 健

地謡

高野秀幸
米島和秋
寺田 茂
船本嘉人
中村 清
酒井 章
山本貢伸

〔連吟〕

岩 船

高野秀幸
米島和秋
寺田 茂
船本嘉人
中村 清
酒井 章
山本貢伸

〔仕舞〕

桜川 福岡聡子
龍田キリ 松田若子

福岡聡子
松田若子
佐野弘宣
佐野由於
島村明宏
松本 博

〔舞囃子〕

頼政 藪 俊彦

大鼓 飯嶋六之佐
小鼓 住駒 俊介
大鼓 室石和夫
笛 佐野玄宜
佐野玄宜
高橋憲正
佐野弘宣

地謡

佐野玄宜
高橋憲正
佐野弘宣

休憩(二十分)

〔仕舞〕

清 経 佐野由於
玉之段ワキ 高橋右任
阿 漕 島村明宏

地謡

高橋右任
島村明宏
高橋 克徳
佐野玄宜
木谷哲也

〔狂言〕

仁 王

シテ 能村晶人

アド 炭 哲男
立衆 中尾 史生
立衆 山田讓二
立衆 若生敏郎
立衆 清水宗治
小アド 能村祐丞

〔能〕

枕 慈童

シテ 渡邊茂人

ワキ 北島公之
ワキツレ 渡貫多聞

後見 炭光太郎

後見 佐野由於
佐野玄宜

松田若子
福岡聡子

地謡

水口純治 高橋憲正
谷 清士 渡邊菊之助
岩井嘉樹 藪 俊彦
笠間 啓 木谷哲也

〔終了午後四時半頃〕

解説 〔能〕 枕 慈童 まくらじろう

魏の文帝の宣旨により、肥前山(つるぎ山)の麓に湧き出る薬の水を訪ねた臣下(ワキ・ワキツレ)が山中の庵に化生の美童(シテ)を発見します。童子は周の穆王に仕えた慈童のなれの果てを名乗り、その証拠に穆王から賜った枕と、それに書き付けられた法華経の二句の偈の親筆を見せます。その偈を菊の葉に書き露の滴りを飲んで長命を得たのですが、数えてみればすでに七百年を経過しています。慈童は経文の功德と帝恩の忝なさを思い、面白く舞い遊びます。麓に湧き出た薬の水とはこの菊水のことでした。慈童は臣下と菊水を酌み交わし、酔いに引かれて近づいた枕を戴いて菊花の簪に臥せります。やがて起き上がった慈童は帝の永遠の繁栄を祈り、七百歳の長寿を授け置こう、菊水は無尽蔵だと述べて、菊をかき分けて山路の仙家に帰ります。慈童がこの山に住むのは、誤って穆王の枕を踏ぎ、配流されたためです。その前場を省くようになり、結果的に祝言性が強まりました。

